広報ずし製作業務委託公募型プロポーザル実施要領

1. 趣旨

幅広い層の市民が分かりやすく、より一層興味のもてる広報誌を安定的に発行し続けるため、広報ずしの製作について、優れたノウハウをもつ専門業者に委託することを目的として、公募型プロポーザル方式による事業予定者の選考を実施する。

2. 業務概要

(1) 業務名

広報ずし製作業務（以下「本業務」という）

(2) 業務内容

別紙「広報ずし製作業務仕様書」（以下「仕様書」という）のとおり

3. 担当窓口

逗子市役所 企画課広聴広報係 担当者名：奥野

住所：〒249-8686 神奈川県逗子市逗子5丁目2番16号

電話：046-873-1111

メール：kouhou@city.zushi.lg.jp

4. 履行期間

契約締結の日から令和8年3月31日まで

なお、業務内容に問題がなく適正な履行がなされている場合、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定に基づき最長2年間の随意契約を行う。

5. 予算額

(1) 10,926,300円（消費税および地方消費税を含む）

(2) 内訳 24頁（4色刷り16頁、2色刷り8頁）・1,539,725円・4回

16頁（4色刷り8頁、2色刷り8頁）・1,191,850円・4回

6. スケジュール

(1) 公募要領の公表	令和7年3月17日（月）
(2) 質問の受付締切	令和7年3月24日（月）
(3) 質問に対する最終回答	令和7年3月27日（木）
(4) 一次審査書類提出期限	令和7年4月3日（木）
(5) 一次書類審査結果の通知	令和7年4月10日（木）
(6) 二次審査書類提出期限	令和7年5月1日（木）
(7) 二次（プレゼンテーション）審査	令和7年5月8日（木）

- (8) 最終審査結果の通知 令和7年5月中旬
(9) 契約締結 令和7年5月下旬

7. 参加資格

公告日現在、逗子市入札参加資格者名簿「デザイン制作委託」と「オフセット印刷」の両方に登録されている者で、次の各号の全ての要件を満たすものとする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続き開始の申立てまたは民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続き開始の申立てがなされていない者。
- (3) 会社法（平成17年法律第86号）第475条若しくは第644条の規程に基づく精算の開始又は破産法（平成16年法律第75号）第18条若しくは第19条の規程に基づく破産手続き開始の申立てがなされていない者。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号及び逗子市暴力団排除条例（平成23年逗子市条例第15号）第2条第3号の規定に該当しない者。
- (5) 国又は地方公共団体との契約に関して、参加の希望を表明する時点で、履行期限までの間に指名停止を受けている期間がないこと。
- (6) 国税及び県税並びに市町村税について滞納がないこと。
- (7) 過去5年度以内にカラーページを含む自治体広報誌製作の実績があること。
- (8) JR 逗子駅または京急逗子・葉山駅から電車と徒歩で2時間以内の場所に出張校正のできる環境があること。

8. 質問書の提出及び回答

(1) 質問書の提出

提出期限 令和7年3月24日（月）午後5時
提出書類 質問書（様式1）
提出方法 kouhou@city.zushi.lg.jp宛てに送付すること

(2) 質問への回答

- ① 回答期限 令和7年3月27日（木）午後5時
- ② 回答方法 市ホームページに順次公開する。なお、質問に対する回答は、実施要領等の追加または修正があったものとみなす。

9. 一次審査書類の提出

(1) 提出期限

令和7年4月3日（木）午後5時

(2) 提出書類

- ① 参加表明書（様式2） 1部
- ② 会社概要及び業務実績書（任意様式） 2部
- ③ 企画提案書（任意様式） 6部
- ④ 見積書（様式3） 1部

(3) 提出方法

持参又は郵送。なお、郵送の場合は提出期限までに必着のこと

(4) 企画提案書作成要領

- ① 用紙はA4判両面使用とすること。
- ② 頁番号は表紙を除き通し番号とし、各頁の下部中央に印字すること。
- ③ 企画提案書は、専門的な知識を有しないものでも理解できるよう、分かりやすい内容とすること。また、専門用語を使用するときは、注釈を付すこと。
- ④ 企画提案書には、次の内容を記載すること。
 - ・社の特徴などのPR
 - ・自治体広報についての考え方
 - ・製作スタッフの配置と人数（それぞれの工程に対応する人数、内部製作・外部委託の別など）、主要な製作スタッフの略歴
 - ・製作スケジュール
 - ・広報ずしに関する独自提案など

10. 二次審査書類の提出

(1) 提出期限

令和7年5月1日（木）午後5時

(2) 提出書類

提案紙面（任意様式） 6部

(3) 提出方法

持参又は郵送。なお、郵送の場合は提出期限までに必着のこと

(4) 提案紙面作成要領

提案紙面は、次の2点を作成すること。

文字データ、写真等は一次審査通過者に市から提供するが、提案紙面には提供したもの以外の写真やイラストを加えても構わない。

- ① 表紙および特集記事（A4判5頁・4色）のレイアウト

「別添 二次審査企画書」をもとに、表紙および全4頁の特集記事レイアウトを作成する。

表紙は、広報誌として読者の目をひくもの。「広報ずし」のタイトルなどは変更不可。

企画書の内容は増減および順番の入れ替えをして構わない。ただし企画書中、「★」記号のついた事項は必ず掲載すること。文字について、タイトルや小見出し等は作成するが、本文はダミー文字として「○」記号を挿入して構わない。

② 広報ずし本誌面記事（A4判1頁・2色）の再構成

広報ずし令和6年7月号（14頁）の本誌面記事を、デザインや文章のまとめ方を工夫してより読みやすい記事に編集する。

11. 審査方法及び審査基準

一次審査は書類審査とし、企画課広聴広報担当課長及び広聴広報係職員が実施する。二次審査は広報ずし製作業務委託に関する公募型プロポーザル方式事業者選考委員会がプレゼンテーション審査を実施する。参加事業者が1者の場合も審査を行う。

(1) 一次審査（書類審査）

① 審査方法

会社概要及び業務実績書、企画提案書等により書類審査を行う。審査にあたっては、参加事業者が資格条件を満たしているか、提出書類に不備がないかの確認を行うとともに、「別添 選定基準」を用いて採点し、合計点が高い順に順位付けを行う。全審査委員の合計点が満点の60%に満たない場合は失格とする。

また、参加事業者が4者以上いる場合は、上位3位以内を二次審査（プレゼンテーション審査）対象者として選定する。なお、同じ順位の者が複数いた場合は、同位として扱い、次の順位の者の数字を繰り下げる。

② 結果通知

一次審査の結果は、電子メールで通知する。

(2) 二次審査（プレゼンテーション審査）

① 日時 令和7年5月8日（木） 30分間 *時間は別途通知する。

② 場所 逗子市役所会議室

③ 実施方法

- ・参加事業者によるプレゼンテーションの後、質疑応答を行う。どちらも非公開で行う。
- ・時間配分は、プレゼンテーション15分、質疑応答15分とし、準備及び片付けはそれぞれ5分以内で行うものとする。
- ・プロジェクター、スクリーンは本市が準備する。
- ・二次審査提出物以外の資料の追加は認めない。

④ 審査方法

二次審査提出物として提出した紙面及び参加事業者自身の特徴についてプレゼンテーションを行う。審査に当たっては、「別添 選定基準」を用いて採

点する。

⑤ 受託候補者の選定

一次審査および二次審査の評価点の合計点が高い順に順位付けを行う。全審査委員の合計点が満点の60%に満たない場合は失格とする。

最上位者を受託候補者とし、次の順位の者を次点受託候補者とする。最上位者が複数いた場合は、審査員が協議して受託候補者及び次点受託候補者を選定する。

⑥ 結果通知

二次審査の結果は、電子メールで通知する。また、審査後、次の項目をホームページ上で公開する。

- ・ 受託候補者の名称及び評価点
- ・ 全提案者の評価点

12. 受託候補者との事前協議

受託候補者に決定した事業者は、本市と提案書をもとに契約締結のための仕様確認等の協議を行った上で、改めて見積書を提出するものとする。なお、見積額は原則として提案書の提案見積価格の範囲内とする。協議に基づき、契約書を作成し、契約の締結を行う。

13. その他事項

その他事項は次のとおりとする。

- (1) 提出された書類は、返却しないこととする。
- (2) 提案書提出後の内容変更及び追加は認めない。
- (3) 審査経過や結果へのいかなる問い合わせへは応じない。
- (4) 応募の辞退をする場合には、「応募辞退届」を提出すること。
- (5) 提案書等は逗子市情報公開条例（平成13年逗子市条例第3号）の対象であり、情報公開請求により公開される場合がある。そのため企業秘密など、公開されることで参加事業者が不利益を被るおそれのある情報が含まれないよう留意すること。
- (6) 応募に要した一切の費用は、参加者の負担とする。
- (7) 次のいずれかに該当する参加者は、無効とする。
 - ① 実施要領等に示した参加者に必要な資格のない者が行った応募
 - ② 企画提案書等に虚偽の記載をした者が行った応募
 - ③ 誤字又は脱字等により意思表示が不明確な応募
 - ④ その他実施要領等において示した条件等参加に関する条件に違反した応募
- (8) 本要領に定めのない事項ならびに疑義が生じた場合は、協議により定める。

以上

企画書

広報ずし 2026 年 4 月号 巻頭特集			
タイトル	(仮) 田越川	テーマ	田越川の紹介 ルールの周知
掲載意図	・自然を感じられるスポット・憩いの場を紹介し、読者の市への愛着を高め、実際に訪れるなど行動変容を促す ・自然環境を守るため、ルールを周知する		
区分・頁	概要	詳細	
表紙	田越川	田越川の写真	
2-3	田越川の概要 生き物の紹介 市民インタビュー 田越川散策案内	田越川の写真 ・鳥 (アオサギ、カルガモ) ・魚 (アユ) 田越川によく行く市民からのコメント 注目スポット ・富士見橋 (かながわの橋 100 選) ・仲町橋近くのポケットパーク ・東橋 (川に降りられる) ・蓮沼橋近くの藤棚	
4-5	★ルールの紹介 専門家インタビュー ★イベント告知	・生き物を放流しないで ・ごみを捨てないで ・なぜ川を守らなければならないか ・川を守るために市民にできること 田越川一斉清掃 (文字量参考: 2024 年 5 月号 13 頁) 生き物観察会 (文字量参考: 2024 年 8 月号 9 頁)	

(別添) 選定基準

・第1次審査選考基準

	評価項目	配点
業務遂行能力	自治体広報について、十分な受注実績があるか	10
製作体制	担当者数、担当者の配置等、適切な業務を提供できる製作体制か	10
製作工程	工程日数、出稿方法、校正回数など合理的に編集できるスケジュールか	10
価格	1部あたりの提示価格	10

・第2次審査選考基準

	評価項目	配点
企画提案	安定した経営基盤を持ち、質の高い業務を継続的に提供できるか、バックアップ体制や緊急時の連絡体制は十分なものとなっているか	5
	本市の広報についての理解・考え方は十分なものとなっているか	5
	広報ずしに関する独自提案が示されているか	5
提案紙面 (表紙)	デザイン タイトルロゴや写真、見出しなどを効果的に配置しているか	5
	ビジュアル性 読者である市民各層に違和感なく受け入れられ、かつ興味を抱かせるものとなっているか	5
提案紙面 (特集記事)	インパクト 一目見たときに関心を抱かせるものとなっているか	5
	構成 リズム、流れがあり、最後まで興味深く読めるものとなっているか	5
	ビジュアル性 読者である市民各層に違和感なく受け入れられ、かつ興味を抱かせるものとなっているか	5
	ユニバーサルデザイン 色使いは色覚障がい者、高齢者などに配慮しているか、文字の大きさ、字体、字間などは適切か	5
提案紙面 (本誌面記事)	読みやすさ、分かりやすさ 内容がよく伝わるか	5
	ビジュアル性 読者である市民各層に違和感なく受け入れられ、かつ興味を抱かせるものとなっているか	5
	ユニバーサルデザイン 色使いは色覚障がい者、高齢者などに配慮しているか、文字の大きさ、字体、字間などは適切か	5

採点	非常に優れている	5点/10点	
	優れている	4点/8点	
	普通	3点/6点	
	やや劣っている	2点/4点	
	劣っている	1点/2点	